

今後の対応(案)

基本方針

環境専門委員会の指導助言のもと作業を進める

具体策

対応の2分化

- ・ 雨水浸透対策
- ・ 地下水(宙水)揚水処理
- ・ 広く技術を募って対応する対策 → 技術評価委員会(仮称) 後述

尚、ファイトレメディエーションの活用は越冬の成否如何

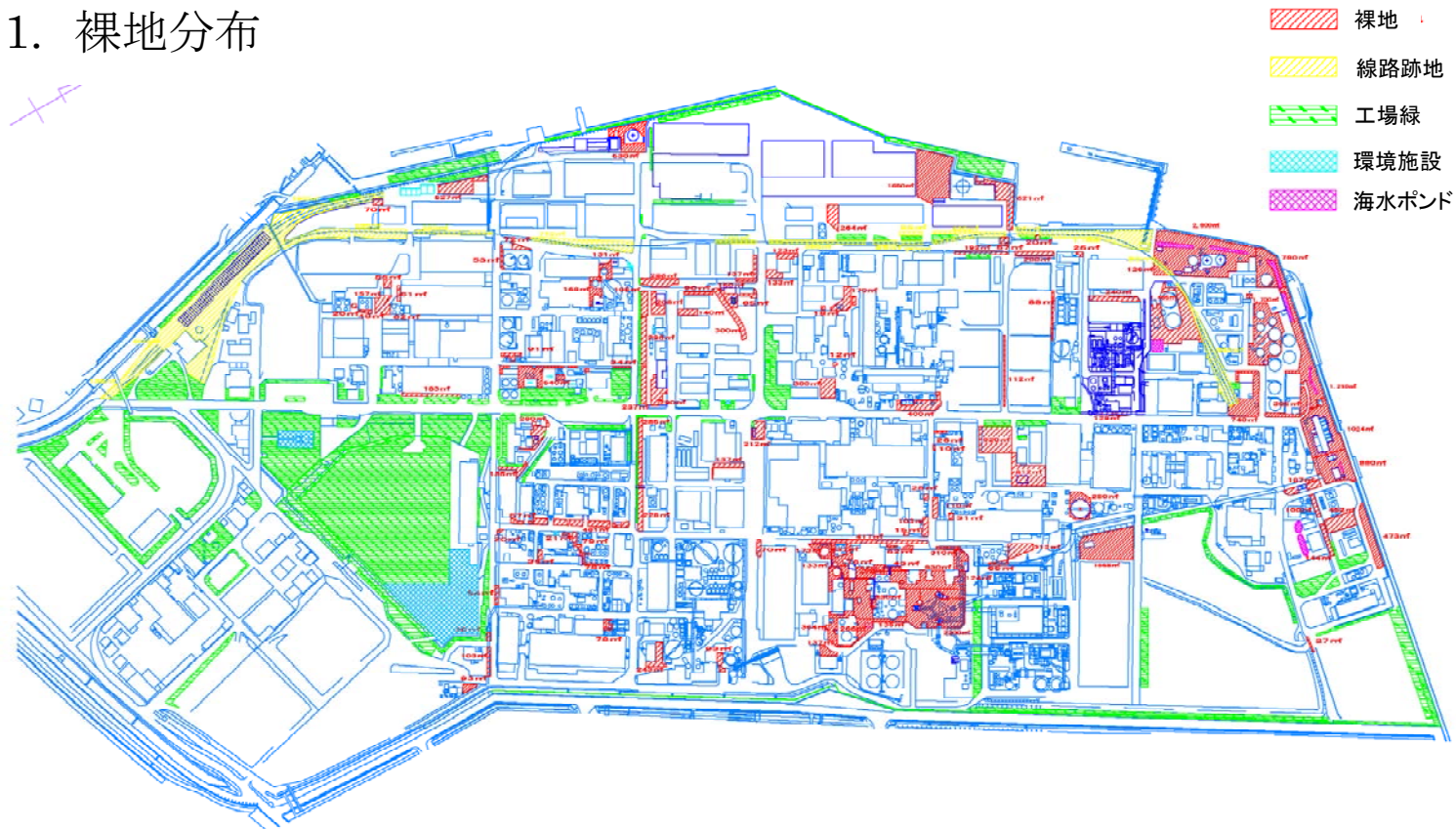
その他

検証体制の確立

平成21年12月21日
第10回環境専門委員会

雨水浸透対策

1. 裸地分布



区分	面積
工場敷地面積	約 70.8 万 m ²
延床面積	約 14.0 万 m ²
環境施設(緑地を含む)	約 7.7 万 m ²
裸地(環境施設以外)	約 4.7 万 m ²

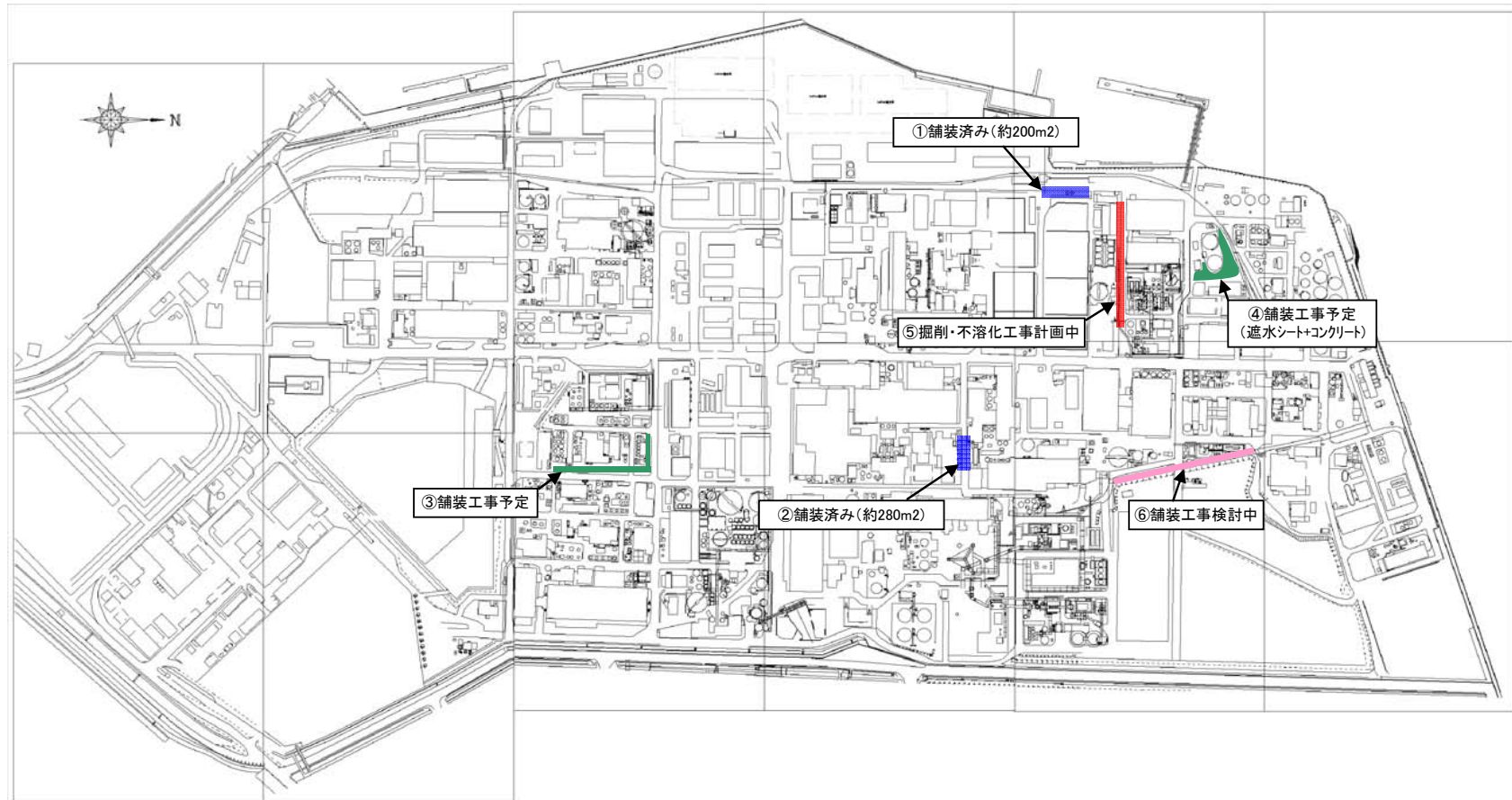
資料 6

2. 裸地舗装の仕様

舗装の種類の名 称	内 容
コンクリート舗装	堅牢、かつ、汚染土壌の飛散等の防止及び雨水浸入の抑制の効力を有するコンクリートにより汚染土壌の人への暴露を防止する。 <u>最低10cmの層厚</u> とする。
アスファルト舗装	堅牢、かつ、汚染土壌の飛散等の防止及び雨水浸入の抑制の効力を有するアスファルトにより汚染土壌の人への暴露を防止する。 <u>最低3cmの層厚</u> とする。
その他 (ブロック舗装等)	ブロック舗装は堅牢、かつ、汚染土壌の飛散等の防止及び雨水浸入の抑制の効力を有するコンクリートの二次製品であるインターロッキングブロック等を利用する。施工にあたっては、目地等からの雨水の流出も抑制できるように配慮する。

資料 6

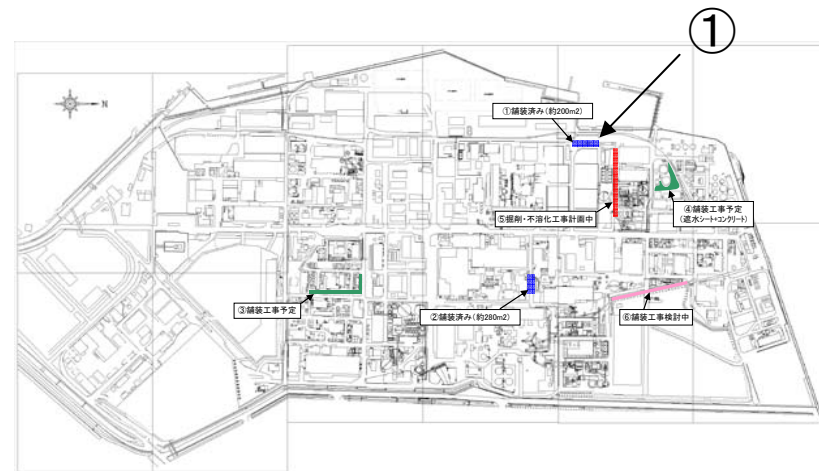
3. 舗装実績及び予定について



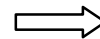
資料 6

4. 工事写真(1)

- アスファルト舗装
(平成21年9月中旬末完工)



工事前

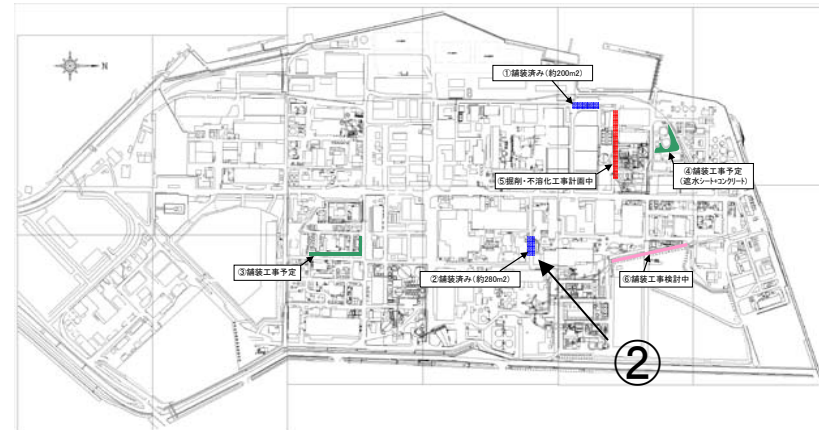


工事後

資料 6

4. 工事写真(2)

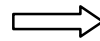
- アスファルト舗装
(平成21年11月中旬完工)



②



工事前



工事後

資料 6

5. 工事予定地現状写真

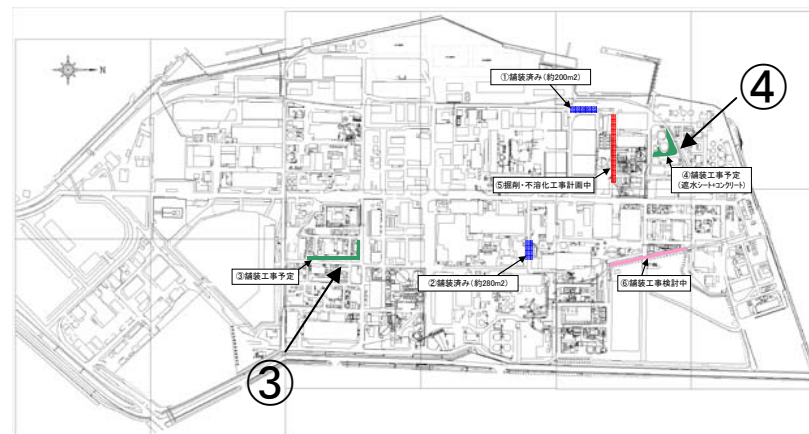
工事仕様

③平面部:アスファルト舗装

法面部:コンクリート舗装

④遮水シート敷設後

コンクリート舗装



現況写真



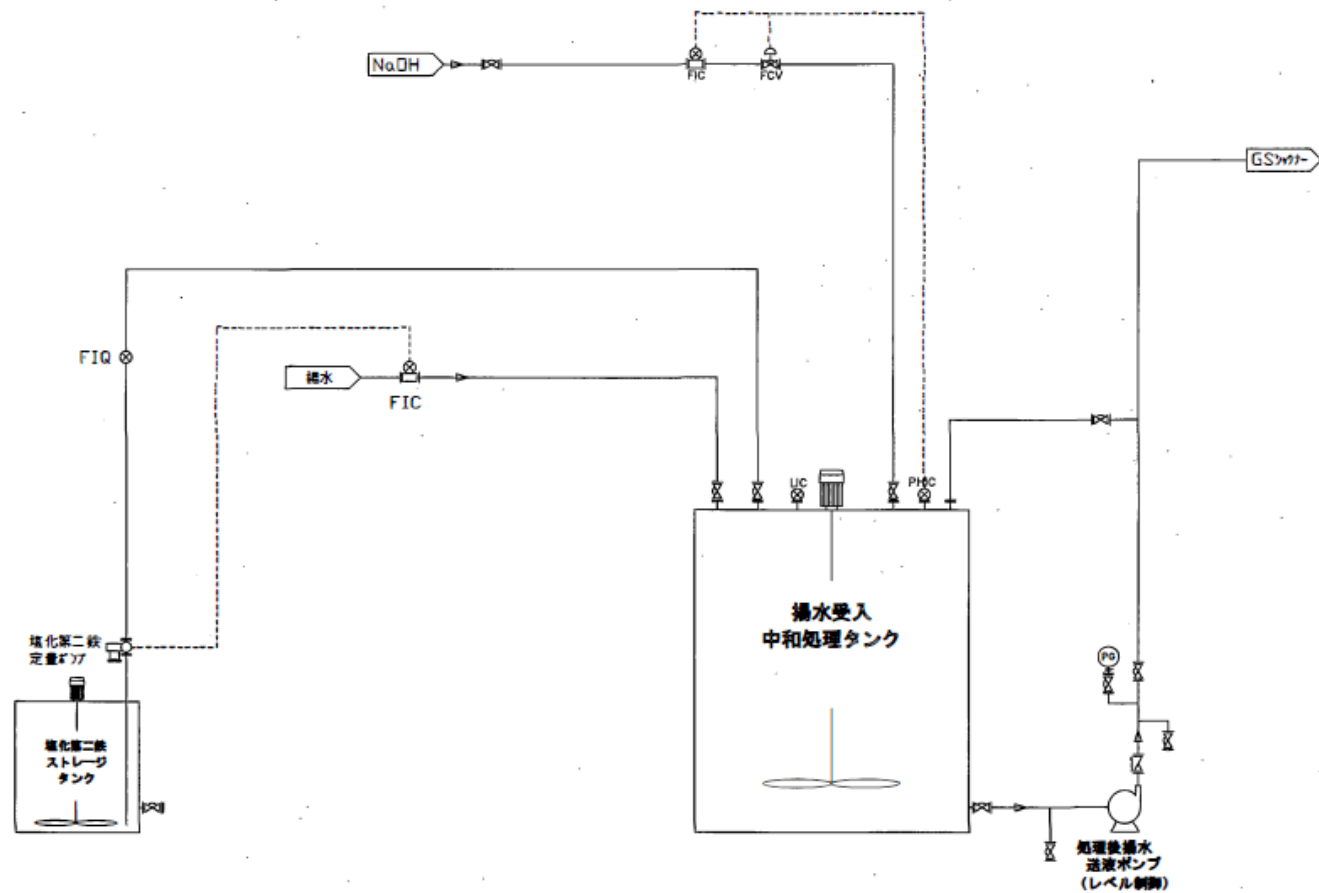
現況写真

資料 6

揚水処理

1. 北西域揚水処理施設計画概略

＜揚水処理設備フロー図①＞

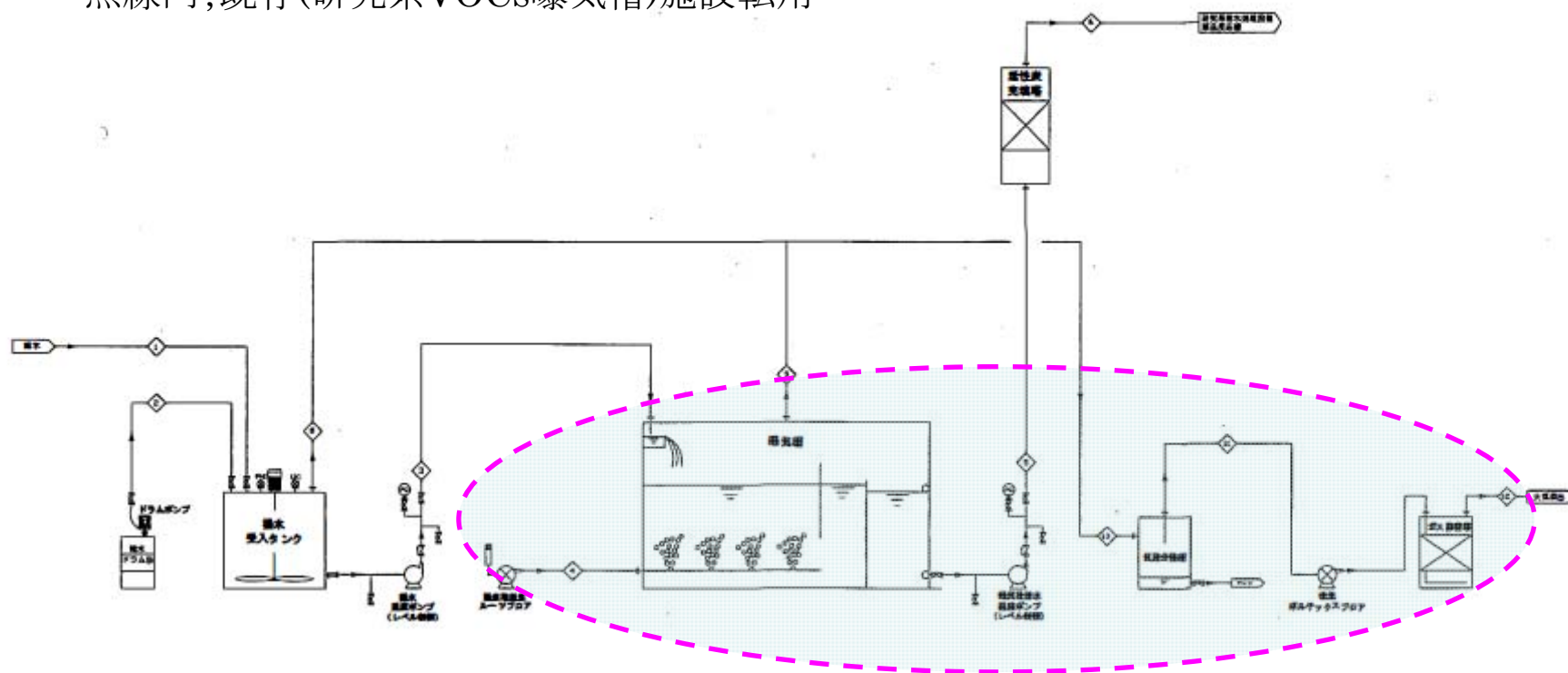


資料 6

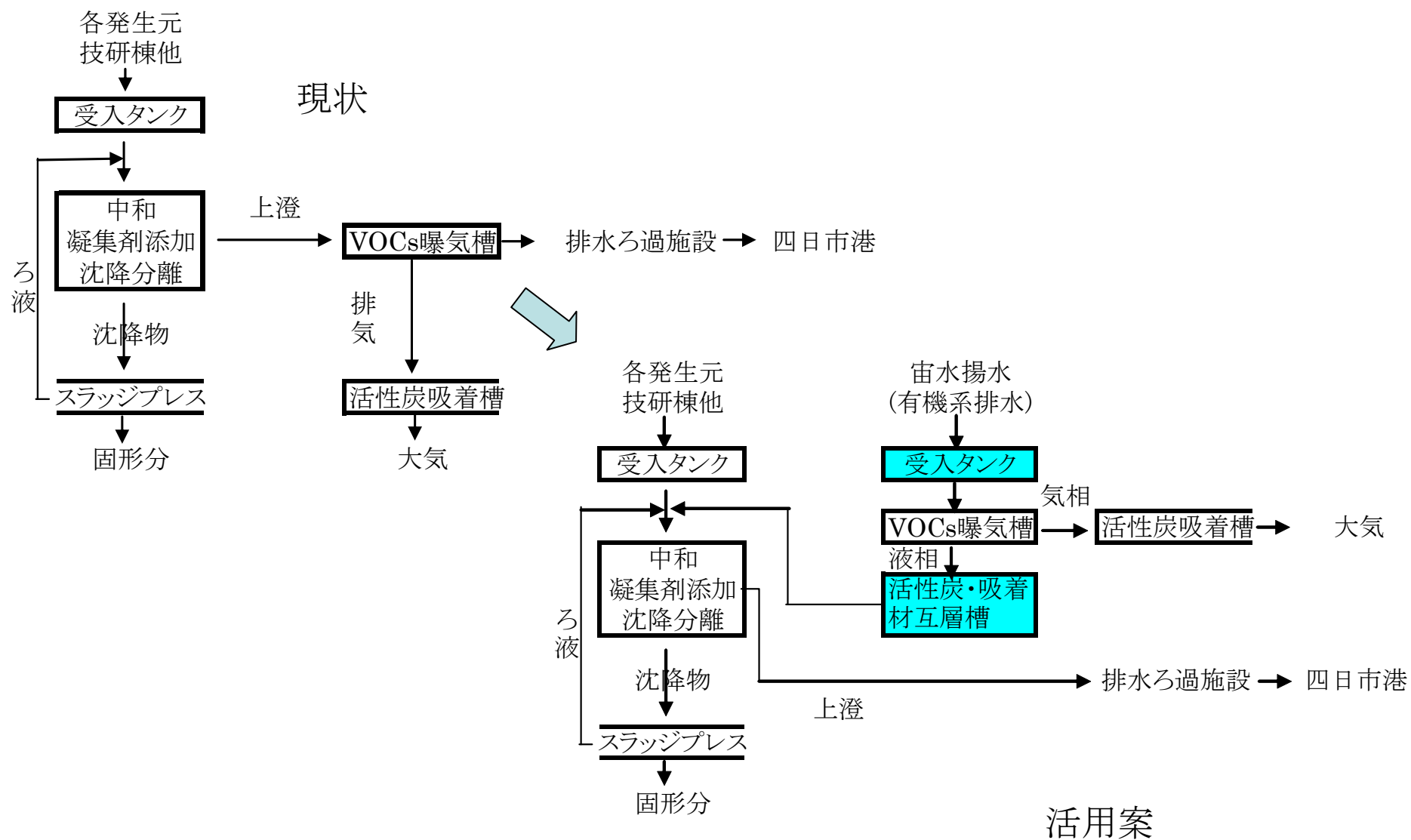
2. BS工場区画宙水処理施設計画概略

<揚水処理設備フロー図②>

点線内;既存(研究系VOCs曝気槽)施設転用



参考；研究系排水処理施設概略(活用イメージ)



資料 6

＜研究系排水設備 曝気槽＞

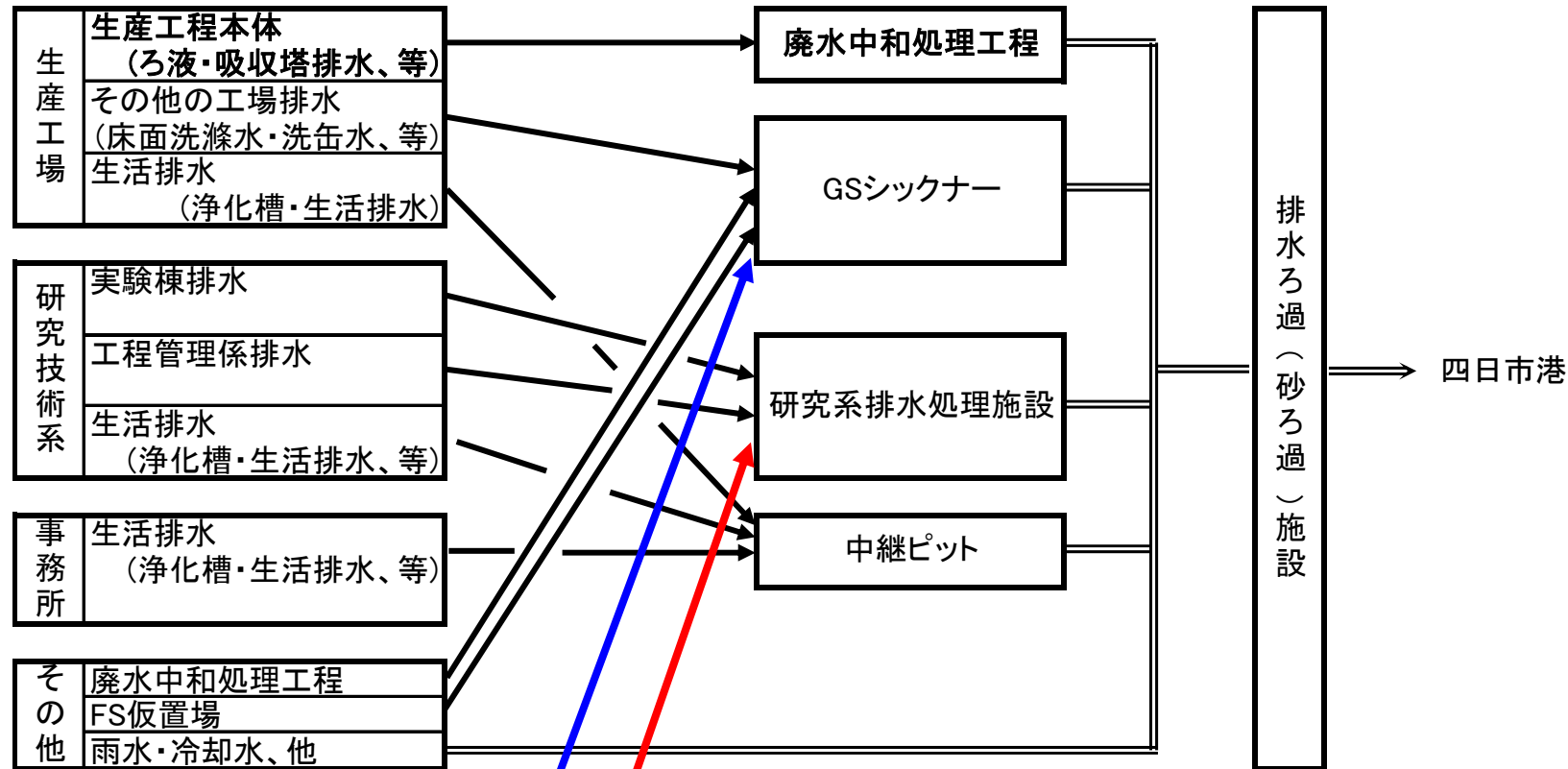


資料 6

参考 四日市工場排水処理系統(揚水処理水系統付加)

発生箇所

処理工程



研究排水処理施設のVOCs曝気槽改造